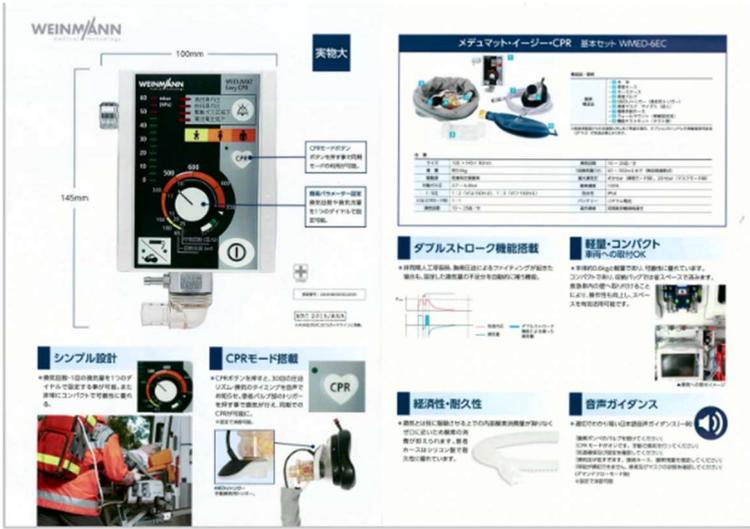


救急資器材（予備救急車積載）

1 積載救急資器材概要

項目	計上資器材
品名	モニター一体型除細動器
参考写真	
主な機能	半自動除細動、12 誘導心電図（解析機能付き）、血圧測定、血中酸素飽和度、呼気終末二酸化炭素分圧など
品名	人工呼吸器（メディマットイージーCPR）
参考写真	
主な機能	換気回数・一回換気量を1つのダイヤルで設定する事が可能。 CPR ボタンを押すと、30 回の圧迫リズム・換気のタイミングを音声で知らせる。

【裏面あり】

2 資器材選定理由

(1) モニター一体型除細動器（耐用年数8年）

来年度更新予定の救急車積載と同型の除細動機能付き心電計モニター。

従来型と違い持ち運びが可能な心電計モニターを導入することにより、心疾患の患者を特定し、迅速に適切な医療機関へ搬送することが期待できる。

(2) 人工呼吸器（耐用年数8年）

従来使用していた人工呼吸器は、CPAP 機能（※1）や PEEP 機能（※2）などの機能を持ち、病院内や救急現場でも使用できる人工呼吸器で多くの消防本部で使用されている機器でしたが、救急活動においてほぼ使用していない機能もあることから機器の見直しを図り、より安価な資器材を計上します。

なお、救急活動する上で心肺停止患者等に対しての質の低下はありません。

※1 CPAP 機能

持続的に気道に圧力を加えることで、睡眠中の無呼吸やいびきを軽減する機能があり、マスクを介して空気を送り込み、気道を広げて呼吸を楽にする機能です。

※2 PEEP 機能

肺の血液を酸素化する際、肺がしぼんだ状態よりもある程度膨らんだ状態の方が酸素化されます。人工呼吸器で常に少量の酸素を送り込み肺が膨らんだ状態を維持しながら換気することで、呼吸器疾患の患者の呼吸が改善し楽になる機能です。PEEP 機能の調整は患者や疾患ごとに圧の調整が難しいため、医師などが圧を調整し使用する機能です。

3 その他資器材

・血糖測定器

救急救命士が行うことのできる処置、意識障害の患者を低血糖かどうか鑑別します。

・通信機器 スマートフォン（新規）

患者の収容依頼や救急救命士が特定行為を行う際に医師へ確認するために使用します。